老齢年金も大幅に

有利になった受給額

まず、前ページの表を見ていただいて年金額がいずれも倍以上に増やされるのがおわかりのことと思います。たとえば、十年年金一つをみても、現在の年額六万円が十五万円に引き上げられています。このように拠出年金（保険料を納める年金）も福祉年金も、全部が加入者に有利な方向に進むことになりました。

お年寄りのため 五年年金が再開しました

今がチャンスです

高齢者（明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生まれた人）に、五年年金へ加入する機会がもう一度もうけられました。つまり、いったん加入受け付けを中止していた五年年金が、再び設けられたということです。

ご承知のとおり国民年金は二十五年間加入しなければ年金を受けられないたてまえになっています。ところが、現在かなり年をとっている人はこれから二十五年も保険料をかけ続けることは不可能です。そこで、これらの人たちのために期間が短かい「五年年金」や「十年年金」の制度を特別に設けて、一定の期間に限って加入の受け付けをしたわけです。

この制度が設けられた当時新津市では、この資格のある人が千七百人ほどおりましたが、昭和三十六年の「十年年金」で六百人、昭和四十五年の第一回の「五年年金」では五百人あまりの人たちが加入されました。そこで、残る六百人ほどの人たちにもう一度「五年年金」への加入チャンスが与えられたものです。したがって今加入しないと七十歳まで年金を受けることができなくなります。ぜひこの機会に加入されるようおすすめします。なお手続きなどは、市民課年金係です。

◉加入申し出期限…昭和四十九年三月三十一日

◉保険料…月額九百円

いま、この「五年年金」に加入すると、昭和四十五年六月に加入した時と同じ扱いになり、いわゆる加入時期がさかのぼって認められます。↙

↙もちろん保険料は、それまでのまとまった額を納めることになりますが、この保険料は昭和五十年の六月末までに納めればよく、分割納入の方法もあります。そうすることによって昭和五十年七月に満六十五歳を過ぎていた場合には、その年の七月から毎月八千円づつの年金がもらえます。

五年年金は、今が加入のチャンスです。入られる資格のある人は、ぜひご加入ください。

67歳～69歳までの人にも 支給される 老齢別特別給付金

国民年金は、次に該当する人にも受けられるようになりました。

○…明治三十九年四月一日以前に生まれた人

○…満七十歳未満の人（七十歳以上の人には、老齢福祉年金が支給されています）

支給される額は月四千円で来年一月から四月分までが五月に支払われます。受け付けはこの**二十日～二十二日まで**の**三日間**ですので、忘れずに市民課で手続きをおとりください。

なお、他の公的年金を受けている人や、本人または配偶者、扶養義務者に一定額以上の所得がある人の場合は、この老齢特別給付金の支給は制限されます。

五年年金と老齢特別給付金 対象者はお申し出を

市では、以上の「五年年金」と「老齢特別給付金」の対象者となるかたがたには、それぞれに通知をしました。

でも通知を受けないかたでご自分が対象者とおもわれるかたは、次の期日までに市民課あてお申し出ください。

◉五年年金対象者のかたは **十一月三十日まで**

◉老齢特別給付金対象者のかたは **十一月二十二日まで**

物価の変動あったとき 年金額も自動引き上げ

国民年金は、年金の値うちが下がらないように五年に一度、物価や生活水準の変動に応じて改善していくよう法律で決められています。ですが五年に一度では実情に追いつかないので、今後は物価の変動が五%以上認められた場合には、年金受給額も翌年度から改正されていくことになりました。

インタビュー

国民年金法が改正されて加入者にとっては、とっても有利になりました。そこで現在いろいろなかたちで年金を受給されているみなさんをたずね、国民年金についてのインタビューを試みました。

〝年金が心のささえ〟

東金沢の 明間フミさん

東金沢にお住いの明間フミさんは、国民年金が今では心のささえです――と、そのよろこびを次のように語っていました。

「八月に主人が三人の子どもを残して突然なくなり、途方にくれていました」

「ところで年金委員のかたから、あなたは国民年金に加入しているから母子年金が受けられますと聞き、早速手続をとりました。そして九月分から年金を受けるようになりました。」

「私は、国民年金がこのような制度になっていることは全く知りませんでした。年をとってからだけ受けられるものとばかり思っていました。何んでも主人まかせだったものですから…。ほんとうに加入していてよかったと思います」

「お話しを聞きますと、また来年の一月から年金額が引き上げられるそうですが、子どもを育てる母親として、いまでは大きな心のささえにもなっています」

〝入っていてよかった〟

福島の 神田藤次郎さん

今年の五月に「右下腿癌」という病気で、右膝上から切断され、六月から障害年金を受けられている神田藤次郎さん宅（福島）をお訪ねしました。

神田さんは、義足をつけられ元気で乳牛の世話をしながら――

「右足を切った時は、ちょうど農繁期で家中大変でしたが、国民年金にはじめから加入していたおかげで年金を受けることができ、よろこんでいます。障害者となりましたが保険料が免除されるうえ、来年度から年金額も大幅に増やされるとのことで、本当に助かります」とお話しくだされました。そして国民年金がどんなにためになっているかを、しみじみと感じていられるようでした。また昭和三十六年当時加入しなかった人が「あの時加入していればよかった――と後悔している人がいましたヨ」ともいっていました。

山谷町一丁目の川嶋キヨさん宅を訪ね、年金をもらったご感想をお聞きしました。

川嶋さんは、国民年金発足当時任意加入され、その後一時厚生年金にうつられ、また国民年金に再加入されました。今年二月には満六十歳になられたので、厚生年金と国民年金に加入していた期間を合わせると十年以上になって、それぞれの制度から通算老齢年金をもらいはじめた一人です。

〝初受給うれしくて〟

山谷町一の 川嶋キヨさん

「年金証書をもらったときにはそうでもなかったんですが、年金支払い日がきた時は朝からそわそわしてしまって主人から笑われました」

「お金をもらったときには嬉しくて、その日の夕食どきは、年金の話に花が咲きました」

「主人は国鉄から年金をもらっていますので、老後は年金で――という言葉はまさにピッタリですネ」

「家庭を守る主婦も年金がなければ――としみじみおもいました」

「年金制度が充実されてきたということは、本当にいいことです。私は、百五十円の時からかけてきたものですからうれしい気持ちでいっぱいです。近ごろ私の地域でも加入させてほしい、国民年金について知りたいと年金に関心を寄せる人たちが非常に多くなってきましたヨ」と井上さん。現在では保険料のとりまとめに、任意加入加算年金のPRにと多忙な毎日を過ごしておられます。

「まだまだ地域のためにガンバリますヨ」とお元気です。

昨年の二月から年間六万円の年金をもらっている井上ソノさん（天神）に伺ってみました。

「制度発足当時、私は年金委員をしており、人にすすめる立場にあったため、何のためらいもなく加入できました。社会福祉を、老人対策をといろいろさけばれていますが、まず老後の生活設計というものは、自分自身でつくりあげていかねばならないものだと思います」

制度発足から加入

天神の 井上ソノさん

「世の中は変わり、布団をつくったり着物をつくって若い者に贈る――こんな年寄り自慢の受け継ぎというものがなくなってきているように思います。そんな淋しさと老後の不安を解消してくれるのが国民年金なのでしょうネ」とお話しくださいました。

話がこのたびの年金制度の改正のことになると――

国民年金 移動相談所

国民年金や厚生年金のことについて、お気軽にお出かけください。

○とき…十一月二十八日(水)午前九時三十分から午後四時まで

○ところ…市民会館会議室

ボリュームある肉料理専門店
とんかつ すき焼
箱岩
新津市本町3 TEL(2)4516

はもてばもつほどほしくなる!!
服 男の服 つちだ
新津駅 市役所 北越銀行
本町2 TEL(2)0648
Mi Mi (2)6857

スルケン 建設業者登録店 法定防火工事登録店・一級職業訓練指導員
建 鈴木表具店
新津市本町3丁目こせん橋下(神社側)
TEL(02502) 2—1986
開店二十五周年記念に付き四十八年度中粗品進呈致して居ります。 店主